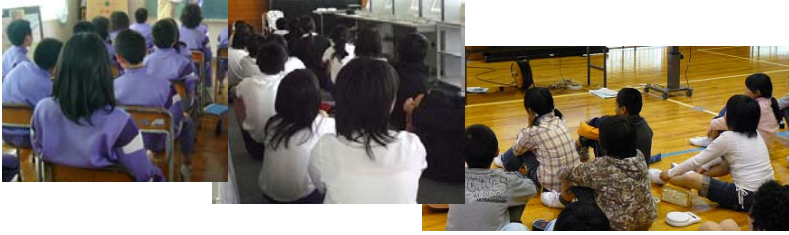


環境・文化活動の推進



◇ツバメ学習会始まる

今年もツバメの知識を深めるため、ツバメ学習会が始まりました。



5月7日 木曳野小学校（金沢市）

5月1日 向洋小学校（穴水町）

5月8日 清湖小学校（内灘町）

5月9日 山中小学校（加賀市）



1時間のツバメ学習会の後、山中小学校では質問コーナーがありました。

学習会後の質問コーナーではたくさんの質問が出ました。

みんなは、インターネットで一度ツバメについて勉強してからツバメ学習会に臨んだそうです。

- ・ツバメが来る家は幸せになるといいますが、どうしてですか。
- ・雨が降りそうなときはツバメが低く飛ぶのは何故ですか？
- ・ツバメの色が黒、赤、白なのはどうしてですか？



・ツバメのヒナが地面に落ちていたときはどうしたらいいのですか？

ヒナが落ちた状況によって変わります。

Q 巣のあった場所で、カラスやネコなどの被害で落ちた場合。

A すぐに、カップ麺などの容器にヒナを移して、できるだけ巣があった近くにつるしてください。そうすれば親は巣がかわっていてもヒナを育てることもあります。

Q 巣がない場所で、カラスなどに襲われて、ヒナだけ落ちていた場合。

A 決して自宅や学校に連れて帰らずに、できるだけ近くのツバメの巣に入れてやってください。親は、自分の子どもでなくても元気なヒナなら、自分の子どもと同じように育てることもあります。

Q 巣があって、親もいるのに、巣の下に落ちていた場合。

A 親が、理由があって子どもを落とした可能性があります。ダニに寄生されていて、この子どもが巣にいと他のヒナも感染してしまい、危険な場合などです。

1度は、巣にもどしてあげてみてください。すぐにまた、巣の下に落とされている場合は自然の摂理とあきらめましょう。

今年も愛鳥週間に合わせて、「第31回ふるさとのツバメ調査」が実施されました。

5月16日 味噌蔵町小学校（金沢市）

木村先生による
オリエンテーション

ツバメの巣が、納屋や車庫にあると理解した児童は、積極的にツバメが巣をつくりそうな場所を探して、巣をみつけては、家に人にインタビューして、調査票に入力していた。ガソリンスタンドで4羽のヒナをみつけた児童たちは、「こんなところにツバメがいたなんて知らなかった。古巣もたくさんあるね。」と話し、店主の快諾のもと、窓ガラスにシールを貼らせてもらっていた。他に、高架橋の下の、コシアカツバメの古巣、中学校の体育館の壁にイワツバメの古巣も見つけていた。

